

事 業 報 告 書

第十二期

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月 31日



岩国空港ビル株式会社

事 業 報 告

1. 株式会社の現状に関する事項

(1) 事業の経過

岩国錦帯橋空港は、平成 24 年 12 月、東京路線 1 日 4 往復の運航で開港し、現在は東京路線 5 往復・沖縄路線 1 往復の計 1 日 6 往復の航空便が就航するに至っております。旅客数も順調に増加し、平成 30 年度は約 52 万人と過去最高を記録しました。しかしながら令和元年度末からの新型コロナウィルス感染拡大により就航便の欠航や利用者の減少が続いており、令和 3 年度の旅客数は 13 万 3 千人、平均搭乗率は 37.7% で、開港以来過去最低の前年度と比較し、旅客数は約 1.7 倍、平均搭乗率は約 1.2 倍と回復基調ではありましたが、期待された第 4 四半期において変異型であるオミクロン株による感染拡大第6波により、搭乗旅客数が伸び悩みました。

令和 3 年度では機能強化関連事業はありませんでしたが、大型連休やお盆、年末年始期間中の多客期における駐車場への誘導案内や駐車場路面標示の劣化修復に取り組み、空港利用者の利便性維持に貢献できたものと考えます。

(2) 事業の成果

令和 3 年度は前年度に引き続き、新型コロナウィルス感染拡大により、年度を通して減便が続き、第 4 四半期は予想以上に搭乗者数が伸び悩んだため、収入が計画より落ち込みました。当期の売上高はテナントからの歩合賃料や共用施設・設備使用料の減収による影響を受け、また昨年度に引き続きテナントに対する固定賃料の減免等を行いましたが、219,375 千円(対前年 +10,467 千円)、105% の增收を図ることができました。販売費及び一般管理費については外注費や修繕費を中心に抑制を行い 259,374 千円(対前年 △8,976 千円、96.7%)となりました。

その結果、営業損失は△39,998 千円(対前年 +19,443 千円)と令和 2 年度に次いでマイナスとなり、営業外収益として新型コロナウィルス関連の支援金等(1,000 千円)を加えても、経常損失は△36,816 千円となり、前年に比べて +12,966 千円改善したものの、黒字には至りませんでした。

なお特別利益として県より駐車場運営維持費 30,000 千円、空港機能維持事業補助金 1,036 千円が交付され、税引前当期純損失は△5,779 千円(対前年 +7,944 千円)と改善されました。法人税等については 2,998 千円(対前年 +4,680 千円:前年度は前期繰戻還付あり)となり、当期純損失は△8,777 千円(対前年 +3,263 千円)となりました。

(3) 当社が対処すべき課題

これまで、駐車場、団体待合場所の不足や飲食施設の設置要望など、利用客数の増加に伴う様々なニーズに応えるべく、補助金等を活用しながら施設・設備の整備充実に努めてきました。また、今年度は各施設が竣工後 10 年を迎えるため施設設備の老朽化対策として中長期的な修繕計画の準備や、委託管理を含めた維持管理体制について検討して参りました。

今後の課題としては、①新型コロナウィルスの感染拡大による減便など、収入の落ち込みにも耐えられるコスト体制、②ポストコロナを見据えた山口県や岩国市をはじめ関係機関等と連携した利用促進活動、③ターミナルビル等、各施設・設備の老朽化対策や維持管理体制の検討について継続して取り組みます。

2. 設備投資等の状況

該当事項はありません。

3. 財産および損益の状況の推移

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	第 10 期	第 11 期	第 12 期
売上高	311,392 千円	208,909 千円	219,375 千円
経常利益	42,366 千円	△49,772 千円	△36,816 千円
当期純利益	48,167 千円	△12,041 千円	△8,777 千円
1 株当たり当期純利益	4,722 円 31 銭	△1,180 円 49 銭	△860 円 53 銭
総資産	1,556,222 千円	1,413,626 千円	1,320,021 千円
純資産	753,327 千円	741,286 千円	732,508 千円
1 株当たり純資産	73,855 円 63 銭	72,675 円 15 銭	71,814 円 60 銭

4. 重要な親会社及び子会社の状況

該当事項はありません。

5. 主要な事業内容

- ① 航空旅客及び航空貨物ターミナルビルの貸室業
- ② 航空機燃料保管施設提供業
- ③ 有料駐車場業
- ④ 広告宣伝業見学施設提供業
- ⑤ その他定款に定めた事業

6. 主要な営業所及び従業員の状況

① 主要な営業所

本社 山口県岩国市旭町3丁目15番1号

区分	営業面積:国有地借用面積	備考
航空旅客及び貨物ターミナルビル	9,486.74 m ²	
航空機燃料貯蔵施設	2,702.47 m ²	100Kℓ・50Kℓタンク各1基
駐車場	16,724.91 m ²	850台収容
計	28,914.12 m ²	

② 空港利用状況

乗入航空会社 全日本空輸株式会社

③ 路線及び便数

岩国～東京線 5往復 10便

岩国～沖縄線 1往復 2便

④ 入居者

(航空旅客及び航空貨物ターミナルビル)

航空会社	1社
売店	1社
飲食店	1社
レンタカーカー会社	4社
警備(航空保安検査)会社	1社
空港警備派出所	1機関

(航空機燃料保管施設)

施設管理及び給油会社	1社
------------	----

⑤ 従業員の状況

男子	女子	計	平均年齢	平均勤続年数
2名	1名	3名	36歳	4.7年

※上記の他、嘱託社員1名在籍

7. 主要な借入先及び借入額

借入先	期末借入金残高
岩国市	429,680 千円

8. 会社の株式に関する事項

- (1) 資本の額 480,000 千円
- (2) 発行可能株式総数 4,000 株
- (3) 発行済株式の総数 10,200 株
- (4) 事業年度末の株主数 23 名
- (5) 主な株主

主な株主	株数	持株比率
山口県	4,000 株	39.22%
岩国市	1,200 株	11.76%
ANA ホールディングス株式会社	600 株	5.88%
株式会社カシワバラ・コーポレーション	600 株	5.88%
和木町	400 株	3.92%
中国電力株式会社	400 株	3.92%
サンデン交通株式会社	400 株	3.92%

9. 会社役員に関する事項

取締役および監査役の氏名等(令和4年3月31日現在)

地位	氏名	他の法人等の状況
取締役会長	柏原 伸二	(株)カシワバラ・コーポレーション 取締役会長
代表取締役社長	末永 瞳	
常務取締役	藤本 裕司	
取締役	福田 良彦	岩国市長
取締役	米本 正明	和木町長
取締役	河内 秀夫	サンデン交通(株) 代表取締役社長
監査役	宇野 考典	(株)山口銀行 執行役員 岩国支店長
監査役	金丸 真明	(株)西京銀行 代表取締役副頭取